



●冬芽には、花の芽と葉の芽があります ●常緑樹の冬芽

コブシ(モクレン科)



花の芽



葉の芽

常緑樹にも冬芽はありますが、冬も緑の葉があるのであまり目立ちません。



シラカシ(ブナ科)

# 冬芽

【ふゆめ】

冬、木々の葉もすっかり落ちて、静かに眠ってしまったかのように見える森の中。でも、そっと枝先に顔を近づけて見ると、次の春に向けた準備が着々と整えられています。春に芽吹く大切な葉や花を、冬の冷たい風や霜から守るために、固い殻、あるいは毛皮のコートでくるんであるのです。それが、冬芽です。冬芽には、緑色に開いた葉や花とは違う、木々の素顔が現れます。明るく静かな冬の森で、春の卵を探してみませんか。



ウルシの冬芽





ニワウルシ (ニガキ科)



ウルシ (ウルシ科)



ハリギリ (ウコギ科)



ホオノキ (モクレン科)



カラスザンショウ  
(ミカン科)



ムシカリ  
(ガマズミ科)

# 「いろいろな冬芽」



サンショウ  
(ミカン科)



オニグルミ (クルミ科)



アカメガシワ  
(トウダイグサ科)



アブラチャン (クスノキ科)



ガマズミ (ガマズミ科)



センダン (センダン科)



コブシ (モクレン科)

春の芽ぶき▶

ニワトコの芽ぶくようす

ニワトコ (ガマズミ科)

